

AT-13C2 ユーザーマニュアル

調査依頼書 (AT-13C2)

年 月 日

一般事項

1. 御社名：
 部署名：
 ご連絡先住所： 〒
 TEL： ()
 2. 購入先：
 購入先担当者：
- ご担当者：
 FAX： ()
 購入年月日：
 連絡先 (TEL)： ()

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種 (製品名)、シリアル番号 (S/N)、リビジョン (Rev)

製品名： AT-13C2



2. お問い合わせ内容 別紙あり 別紙なし
設置中に起こっている障害 設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図 別紙あり 別紙なし
 簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

この度は、CentreCOM1300シリーズ AT-13C2 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、AT-1331-10 および AT-1331-80 (以下 AT-1331-10/80 と表記) 専用の通信モジュールです。1000BASE-SX ポートを 1 ポート装備しており、AT-1331-10/80 のアップリンクポートとして使用することができます。このユーザーマニュアルをお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

1 特長

- 接続状況が一目でわかる LED を装備
- AT-1331-10/80 の動作中に着脱可能なホットスワップ機能を搭載
- オートネゴシエーション機能をサポート

2 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかどうか確認してください。また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包することが望まれますので、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

- AT-13C2 本体
- 製品保証書
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号シール (3 枚)
- ユーザーマニュアル (本書)

3 各部の名称と機能

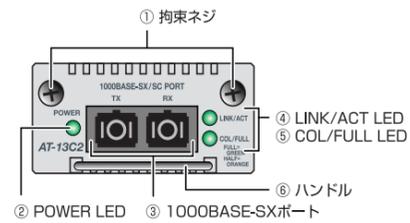


図 1 AT-13C2 前面図

- ① 拘束ネジ
 AT-1331-10/80 に装着し、固定するためのネジです。
- ② POWER LED (緑)
 電源が供給されているときに点灯します。電源が供給されていない場合、消灯します。
- ③ 1000BASE-SX ポート
 1000BASE-SX の光ファイバーケーブルを接続するための SC コネクターです。ケーブルはマルチモード光ファイバーケーブルで、コア / クラッド径が 50/125µm、もしくは 62.5/125µm のものを使用します。このポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、最適な通信モード (Full Duplex / Half Duplex) を自動設定します。
- ④ LINK / ACT LED (緑)
 リンクが確立されたときに、点灯します。ポートがパケットを送受信しているときに点滅します。リンクが確立されていない場合、消灯します。

- ⑤ COL / FULL LED
 1000BASE-SX ポートが Full Duplex で動作しているときに、緑色に点灯します。Half Duplex で動作しているときに、橙色に点灯します。Half Duplex で動作しているときにコリジョンが発生した場合、橙色で点滅します。リンクが確立されていない場合、消灯します。

- ⑥ ハンドル
 本製品を取り外すときに使用します。

4 設置する前に

本製品の設置・使用を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。設置にあたっては、次の点にご注意ください。

- 直射日光にあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本体にある通気口をふさがないように設置してください。
- テレビ、ラジオ、無線機のそばに設置しないでください。
- メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置は避けてください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクターの端子に触らないでください。静電気を帯びた手 (体) でコネクターの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。



安全のために

必ずお守りください



警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

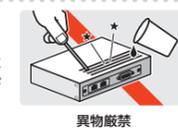
感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



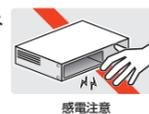
湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のアたる場所には置かない

火災や感電の原因となります。



設置場所注意

取り付け・取り外しのときはコネクター・回路部分をさわらない
 電源プラグをコンセントに差したままでは、製品本体に電気が流れています。感電の恐れがありますので、取り付け、取り外しを行う際は、コネクター・回路部分にさわらないように注意して作業してください。



感電注意

光線をのぞきこまない

目に障害が発生する場合があります。光ファイバーケーブルのコネクター、ケーブルの断面、製品本体のコネクターなどをのぞきこまないでください。



のぞかない

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・ 急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
- ・ 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所 (湿度 80% 以下の環境でご使用ください)
- ・ 振動の激しい場所
- ・ ほこりの多い場所や、ジュースを飲んだ場所 (静電気障害の原因となります)
- ・ 腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り扱いはいない

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
 誤動作の原因となります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤 (中性) をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



お手入れには次のものは使わないでください

石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん (化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)



5 設置のしかた

⚠ 目に傷害が発生する場合がありますので、光ポートや光ファイバークーブルをのぞきこまないでください。光ファイバークーブルを接続していないときは、必ず光ポートにダストカバーを装着してください。

⚠ AT-1331-10/80 運用中にモジュールの抜き差しを行う場合は、必ず以下の手順に従ってください。交換手順を誤った場合は、作業終了後に AT-1331-10/80 の再起動が必要になります。

1. AT-1331-10/80 にて、本製品を取り付けるモジュールに属するポート番号を指定し、「Inactivate (抜き差し準備状態)」にします。すでに「Inactive」である場合は必要ありません。詳しくは AT1331-10/80 付属のオペレーション・マニュアルにて「3.1 ポート設定コマンド」より「ACTIVATE/INACTIVATE MODULE」を参照してください。

2. 本製品を取り付けるモジュールスロットを準備します。
○ 空のモジュールスロットに本製品を接続する場合 AT-1331-10/80 前面のカバーパネルの拘束ネジを緩めて、カバーパネルを外します。

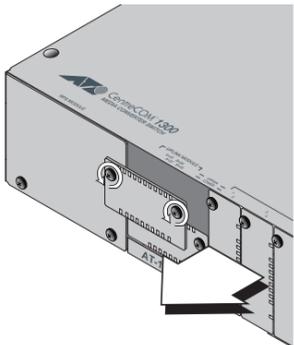


図2 カバーパネルの取り外し

○ 使用中のモジュールと本製品を交換する場合 AT-1331-10/80 に装着されているアップリンクモジュールの各光ポートに接続されている光ファイバークーブルを取り外し、安全のためダストカバーを取り付けてください。拘束ネジを緩め、ハンドルを引っ張って外します。

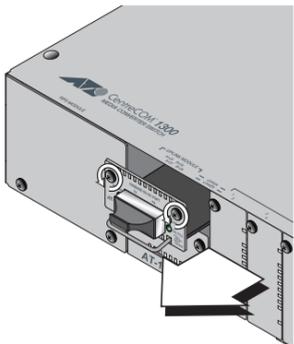


図3 アップリンクモジュールの取り外し

3. 本製品のボード部分をスロットのボードガイドに沿って差し込みます。本製品前面のパネルが AT-1331-10/80 前面のパネルと揃う位置まで押し込み、拘束ネジを締めてください。

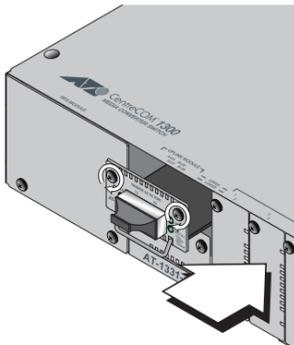


図4 本製品の取り付け

⚠ 故障や事故の原因となりますので、絶対に内部の部品に手など触れないでください。

4. AT-1331-10/80 にて、本製品を取り付けたモジュールに属するポート番号を指定して「Activate (抜き差し準備状態解除)」にします。

5. 1000BASE-SX ポートに光ファイバークーブルを接続します。光ファイバークーブルは2本で1対になっています。本製品の TX を接続先機器の RX に、本製品の RX を接続先機器の TX に接続してください。

⚠ 本製品の取り付け時に一時的な接触不良などが発生していた場合は、AT-1331-10/80 が異常を検知し、自動的に AT-1331-10/80 の再起動を行い、正常な運用を続けます。

AT-1331-10/80 の設定にはコンソールターミナルの接続が必要です。詳細は、AT-1331-10/80 に付属のマニュアルを参照してください。

● 通信モードの設定

本製品は、オートネゴシエーション機能をサポートしています。接続先機器の通信モード (Half Duplex/Full Duplex) は、次の表の○印の組み合わせになるように設定してください。

	接続先ポート	Auto
自ポート	Auto Negotiate	○

6 ケーブル長・接続例

機器間を接続するためのケーブルが以下の長さであることを確認してください。

50/125μm マルチモード光ファイバークーブル
.....550m 以内 (伝送帯域 500MHz・km 時)
62.5/125μm マルチモード光ファイバークーブル
.....275m 以内 (伝送帯域 200MHz・km 時)

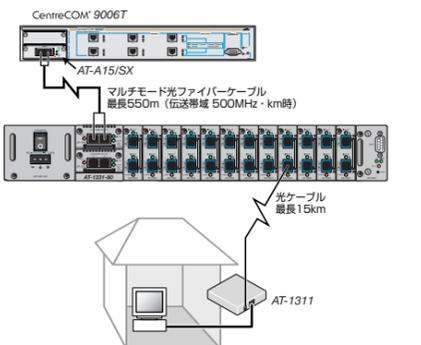


図5 接続例

7 トラブルシューティング

「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● POWER LED は点灯していますか?

○ 電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。また、電源プラグを別の電源コンセントに差し替えるなどして、正常に動作するか確認してください。

○ 本製品が AT-1331-10/80 に正しく取り付けられているかどうか確認してください。

リダンダント電源モジュール (AT-13E1-10/80) を装着している場合は、リダンダント電源モジュール (AT-13E1-10/80) に付属のマニュアルのトラブルシューティングを参照してください。

● LINK/ACT・COL/FULL LED は点灯していますか?

○ 接続先機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

○ 光ファイバークーブルが正しく接続されているか、正しいケーブルを使用しているか、断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を超えていないか確認してください。1000BASE-SX の場合、使用する光ファイバークーブルの「コア径」や「伝送帯域」によって最大距離が異なります。

○ 光ファイバークーブルに問題はありますか? ケーブルの不良は外観からは判断しにくい (結線はよいが特性が悪い場合など)、他のケーブルと交換して試してみてください。

本製品の動作状況は、LED による確認以外に AT-1331-10/80 に接続されたコンソールターミナル上でも確認することができます。詳細は AT-1331-10/80 に付属のマニュアルを参照してください。

8 推奨ケーブル

1000BASE-SX : マルチモード光ファイバークーブル
※コア/クラッド径が 62.5/125μm (推奨) もしくは 50/125μm のもの

規格	1000BASE-SX			
波長 (nm)	850			
ファイバタイプ	MMF			
コア径 (μm)	50	62.5		
伝送損失 (dB/km)	3.5	3.75		
伝送帯域 (MHz-km)	400	500	160	200
伝送距離 (m)	2~500	2~550	2~220	2~275

MMF : マルチモードファイバー

9 製品仕様

準拠規格	IEEE802.3z 1000BASE-SX
光ポート	
波長	850nm
送信光レベル	-9.5 ~ 0dBm
受信光レベル	-17 ~ 0dBm
パケットバッファ容量	120KByte
環境条件	
動作時温度	0 ~ 40℃
動作時湿度	80% 以下 (ただし、結露なきこと)
保管時温度	-20 ~ 60℃
保管時湿度	95% 以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	55 (W) × 154 (D) × 27 (H) mm
質量	約 60g

10 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、弊社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害 (人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない) については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

11 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、裏の「調査依頼書 (AT-13C2)」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先に FAX してください。電話による直接の問い合わせは、できるだけご遠慮ください。FAX で詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。記入内容の詳細については、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

○ アライドテレシス サポートセンター

Tel : ☎ 0120-860-772
月~金曜日 (祝・祭日を除く) 9:00 ~ 12:00
13:00 ~ 18:00

Fax : ☎ 0120-860-662
年中無休 24 時間受け付け

12 調査依頼書のご記入にあたって

「調査依頼書」は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、次の点にそってご記入ください。記入用紙に書ききれない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

● ご使用のハードウェア機種について

製品名、製品のシリアル番号 (S/N)、製品リビジョン (Rev) を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例) 

● お問い合わせ内容について

○ どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に (再現できるように) 記入してください。
○ エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

● ネットワーク構成図について

○ ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
○ 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

13 おことわり

○ 本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
○ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
○ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
○ 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2003 アライドテレシス株式会社

14 商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

15 マニュアルバージョン

2003 年 2 月 Rev.A 初版